



我が国のシリア及び周辺国に対する追加支援

令和3年3月
外務省中東第一課

◆ 我が国は、国際機関等を通じて、シリア及びその周辺国に対する人道支援や社会安定化支援として、2021年、**約2億ドル**の支援を実施。

【概要】

- 食料や援助物資の供与等の緊急人道支援に加え、保健、水・衛生、教育や職業訓練等、中長期的視点に立った幅広い分野での人道支援も実施。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大防止及び感染症拡大による社会経済等への影響の緩和に資することを目的として、脆弱な環境におかれている難民・避難民等に対する人道支援も実施。

(約2億ドルの内訳)

- ・ シリア国内: 約9,000万ドル
- ・ 周辺国*: 約1億1,000万ドル
(*レバノン、ヨルダン、トルコ、イラク、エジプト)

【最近の主な支援の例】

○北西部を中心とした越冬支援や水・衛生・保健分野の緊急人道支援
: 支援額720万ドル

○ハサケ県カミシリ国立病院の修復と医療機材の供与
: 支援額600万ドル

○東グータ地区における上下水道設備修復と母子保健支援
: 支援額470万ドル

○ハサケ県における小麦の生産性向上を通じた食料安全保障強化
: 支援額約900万ドル



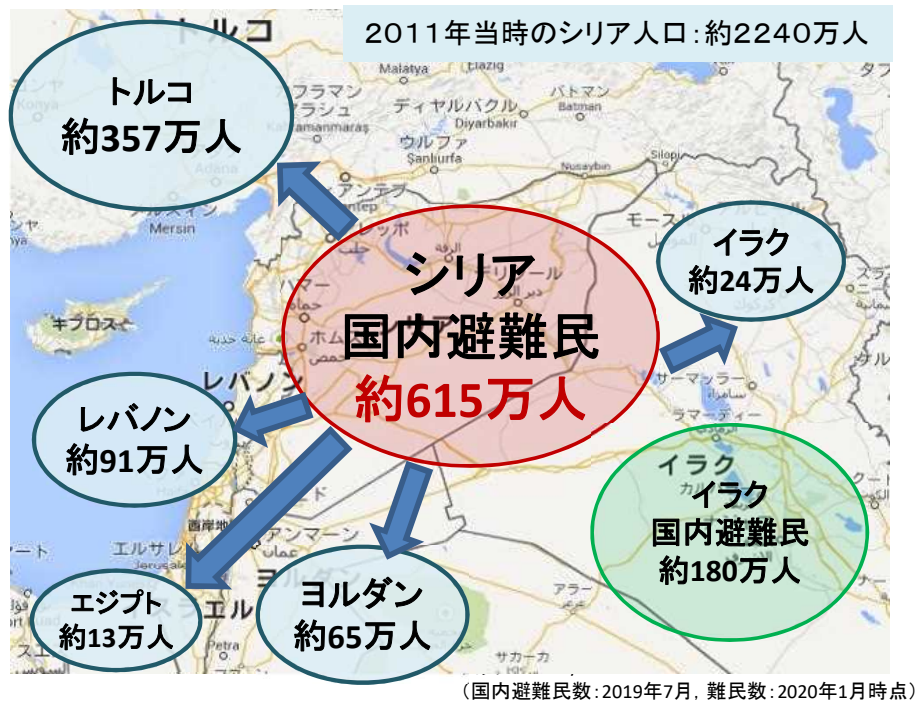
2012年以降の我が国のシリア及び周辺国支援の総額は、**31億ドル以上**

【参考】シリア及び周辺国に対する我が国の取組

令和3年3月
外務省中東第一課

シリア難民・国内避難民等の状況

シリア難民・国内避難民やイラク国内避難民は、困難な環境での生活を余儀なくされている。一部難民・国内避難民の帰還が始まっているが、いまだ多くの難民が流出したままであり、難民受入れ国において大きな負担となっている。



(参考)これまでの我が国のシリア・イラク周辺国無償支援額(米ドル)

2012～2017年	約19.8億ドル
2018年	約5.6億ドル
2019年	約1.9億ドル
2020年	約1.8億ドル
2021年	約2億ドル

シリア国内での人道支援

困窮する全てのシリア人を支援すべく、国際機関やNGOを通じた支援を実施。

食糧支援や医療支援等の緊急人道支援に加え、保健・水・衛生分野、教育や職業訓練等、中長期的視点に立った幅広い分野での人道支援も実施。

食糧支援



©WFP/Hussam Al-Saleh

医療支援



©SARC

【日本の支援の例(ハニーンの物語)】

7歳の少女ハニーンはデリゾール市内で迫撃砲に巻き込まれ、左下肢を切断。その後、UNDPを通じた日本の支援により、ダマスカスで理学療法と義足の手術を受け、現在は小学校に徒歩で通えるまでに回復。



©UNDP/Syria

※2011年以降のシリア情勢を踏まえて、緊急・人道的性格の援助を除き、シリアに対する新規の経済協力の実施を見合わせることにしている。

周辺国支援

多くのシリア難民を受入れるヨルダン、レバノン、トルコ等の周辺国の社会的、経済的負担を軽減するため、周辺国のシリア難民支援、ホストコミュニティ支援を実施。



シリア難民女性のための職業訓練(トルコ)



初等教育支援(レバノン)

シリア人留学生の受入れ

シリア危機により就学機会を奪われたシリア人の若者に日本における教育の機会を提供し、将来の復興を担う人材を育成する観点から、2017年からの5年間で最大150名のシリア人を受入れを表明。2019年12月時点で79名を受入れ。

新型コロナ・ウイルス感染症対策支援

新型コロナ・ウイルス感染症対策支援として、国際機関経由で、シリアおよび周辺国(レバノン、トルコ、イラク、ヨルダン、エジプト)向けに約39.2百万ドルの支援を実施。(このうち、シリア国内向けは10.5百万ドル)

2012年以降、これまでの我が国のシリア及び周辺国支援の総額は、**31億ドル以上**